

加古川市上下水道事業運営審議会資料 (下水道事業)

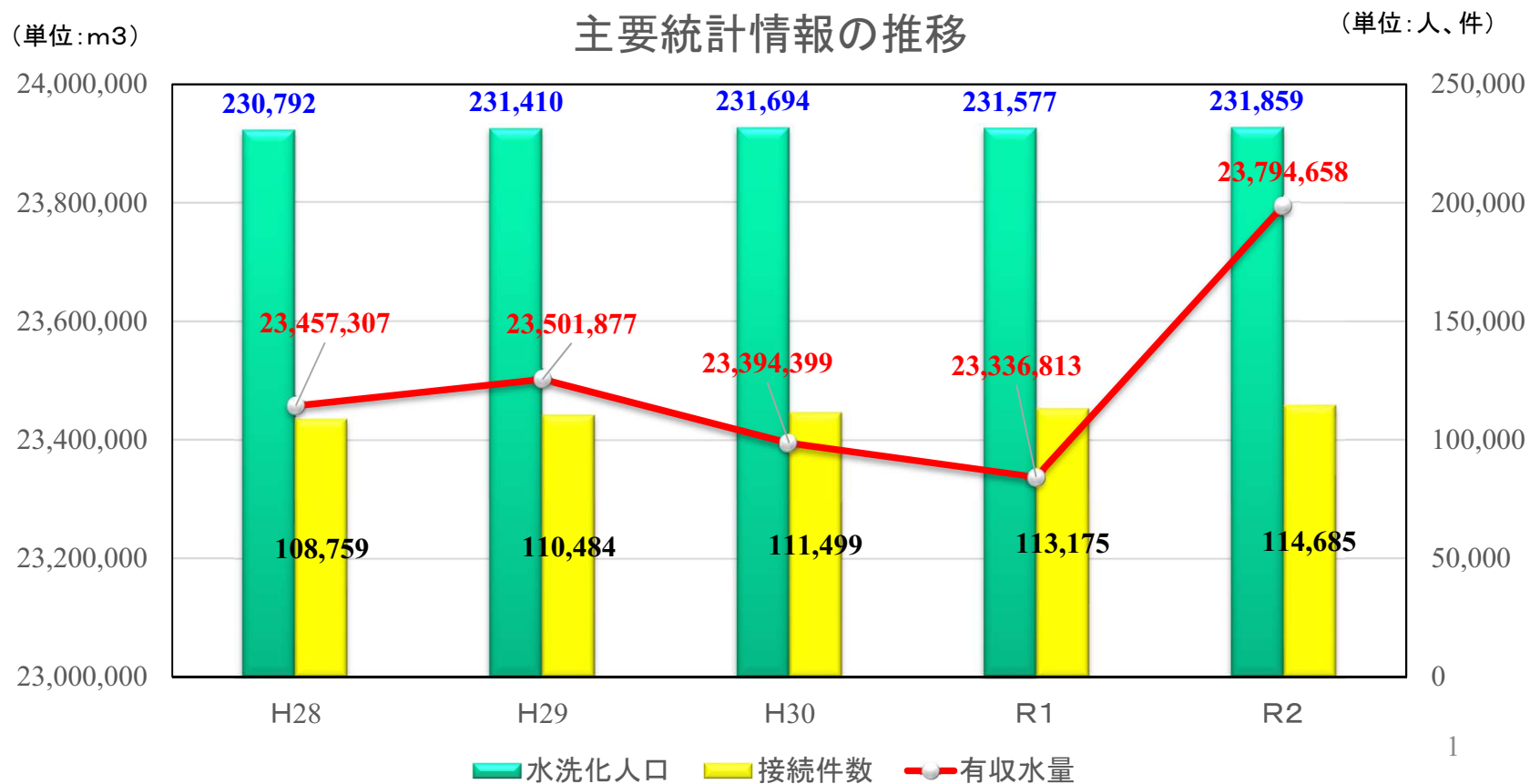
加古川市上下水道局



1 -1 決算の概要

● 主要統計情報

- ・水洗化人口 : 231,859人
- ・接続件数 : 114,685件
- ・有収水量 : 23,794,658m³



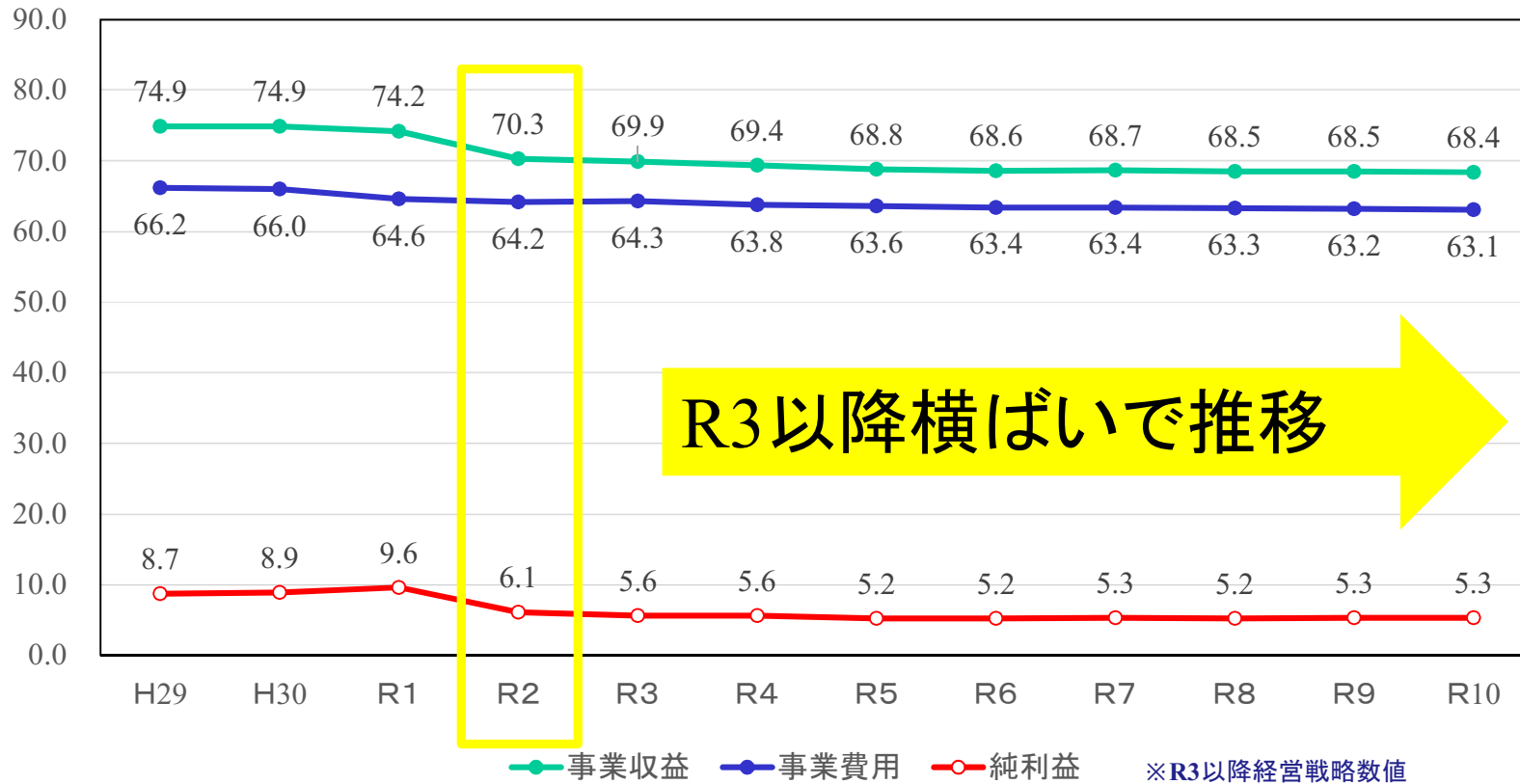
1 -2 決算の概要

掲載数値は基本的に税抜

- 下水道事業会計
 - ・事業収益 : 70億3,376万円
 - ・事業費用 : 64億2,163万円
 - ・純利益 : 6億1,213万円

(単位:億円)

事業収益、事業費用、純利益の推移



2 事業収益

●事業収益総額 70億3,376万円(前年度比 △5.2%)

【主な減少要因】

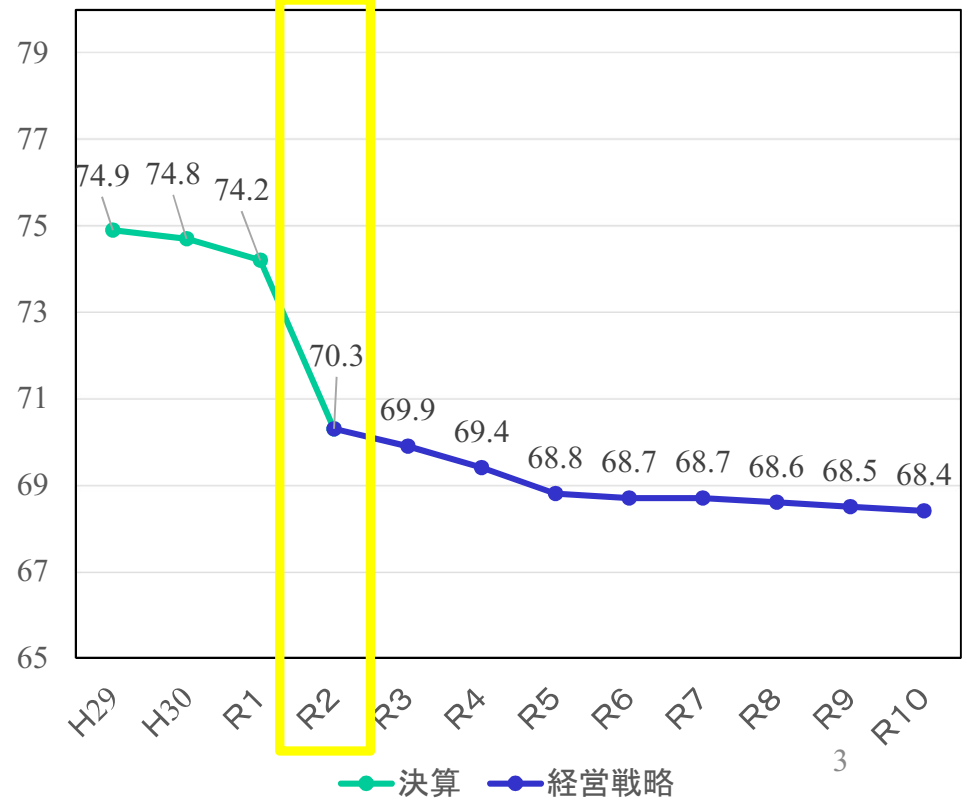
○他会計負担金:雨水処理負担金に係る基準額の減額による減少。

(単位:百万円)

		2年度	元年度	増減
事業収益		7,034	7,419	△ 385
営業収益		4,714	5,076	△ 362
	使用料	3,644	3,646	△ 2
	他会計負担金	1,069	1,428	△ 359
	その他営業収益	1	2	△ 1
営業外収益		2,318	2,338	△ 20
	受取利息及び配当金	4	2	2
	他会計負担金	951	960	△ 9
	他会計補助金	23	34	△ 11
	雑収益	8	8	0
	長期前受入金	1,328	1,329	△ 1
	補助金	4	5	△ 1
特別利益		2	5	△ 3
	過年度損益修正益	2	1	1
	その他特別利益	-	4	△ 4

(単位:億円)

事業収益の推移



3 事業費用

●事業費用総額 64億2,164万円(前年度比 △0.6%)

【主な減少要因】 ○企業債残高の減少に伴う支払利息の減少。

(単位:百万円)

		2年度	元年度	増減
事業費用		6,422	6,461	△ 39
営業費用		5,548	5,503	45
	汚水管渠費	186	176	10
	雨水管渠費	12	10	2
	汚水ポンプ場費	143	134	9
	雨水ポンプ場費	68	60	8
	処理場費	35	43	△ 8
	流域下水道 維持管理負担金	969	945	24
	受益者負担金	4	3	1
	賦課徴収費			
	水洗便所 普及促進費	7	8	△ 1
	業務費	156	161	△ 5
	総係費	119	113	6
	減価償却費	3,839	3,842	△ 3
	資産減耗費	10	8	2
営業外費用		869	957	△ 88
	支払利息及び 企業債取扱諸費	842	936	△ 94
	雑支出	27	21	6
特別損失		5	1	4
	過年度 損益修正損	4	1	3
	その他特別損失	1	0	1

4 資本的収支

●資本的収入 32億5,964万円(前年度比 △2.4%)

【主な減少要因】

○企業債 : 起債対象事業費の減少に伴う減(△1億3,090万円)

●資本的支出 62億3,401万円(前年度比 △4.0%)

【主な減少要因】

○企業債償還金 : 企業債残高の減少に伴う減(△6,391万円)

○他会計借入金償還金 : 皆減(△2億円)

<企業債>

【概要】

公営企業の資金を調達するため発行されるもので、その元利償還金は主として当該企業の使用料収入等から支払われる。下水道事業については、下水道に係る建設改良費等及び用途廃止施設の処分に要する経費を対象とするもの。

【充当率】

100%(上限)

5 -1 主な経営指標

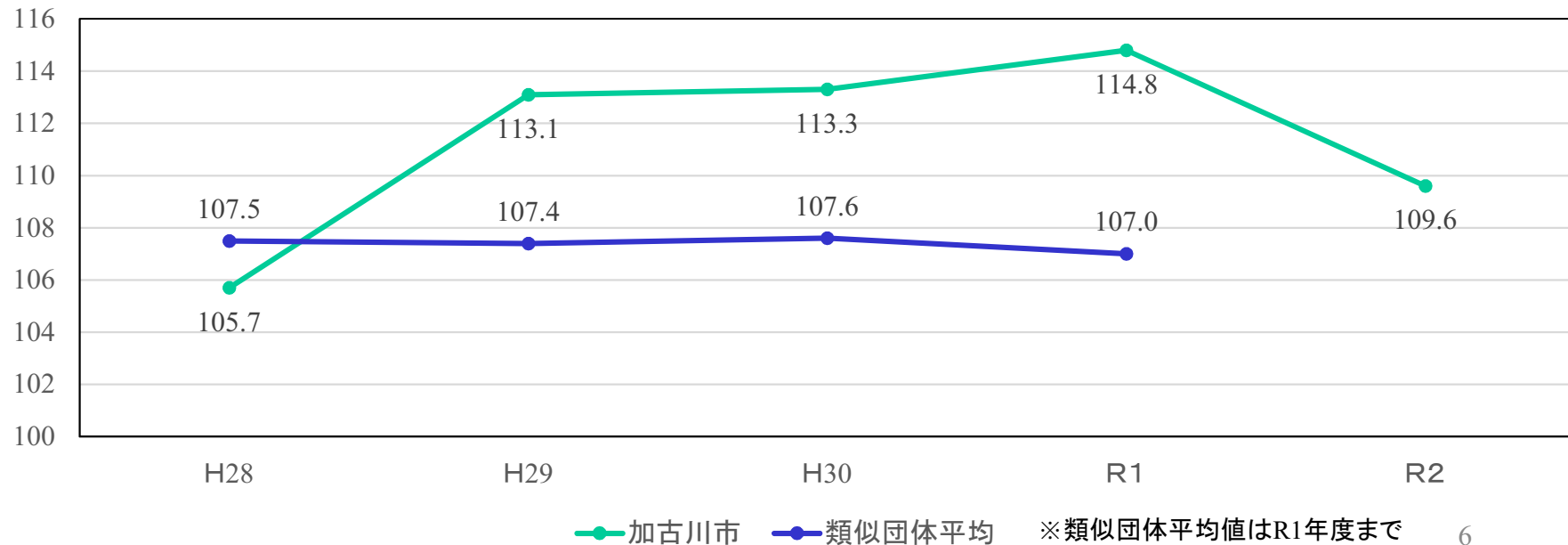
経常収支比率 **109.6** (R1類似団体平均:107.0)

【算式】 経常収益／経常費用

- 当該年度において、下水道使用料や一般会計からの繰入金等の収益で、維持管理費や支払利息等の費用をどの程度賄えているかを表す指標。単年度の収支が黒字であることを示す **100%以上となっていることが望ましい。**
- 一般会計繰入金の減少に伴い、前年度と比べ**5.2ポイント低下**した。

(単位: %)

経常収支比率の推移



5-2 主な経営指標

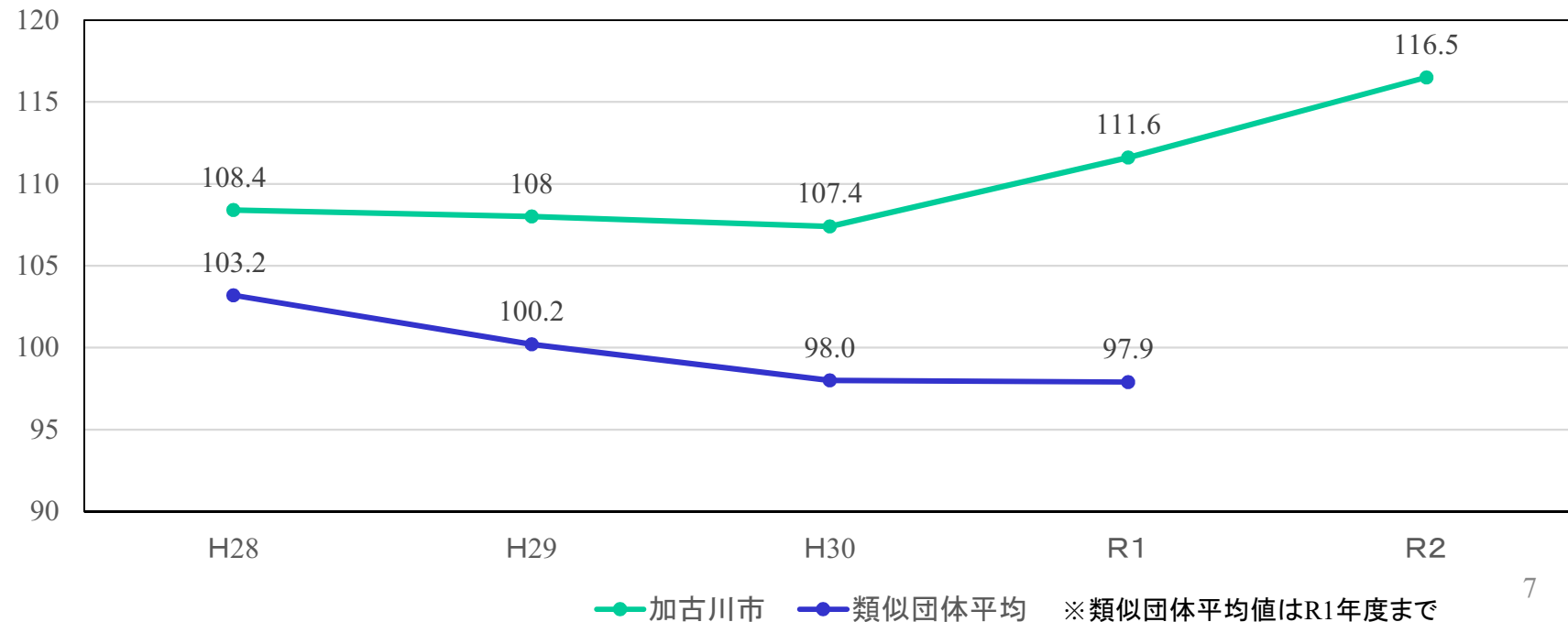
経費回収率 **116.5** (R1類似団体平均:97.9)

【算式】 下水道使用料／汚水処理費

- 料金回収率が100%を下回っている場合、汚水処理に係る費用が下水道使用料以外の収入で賄われていることを意味する。 数値が低く、繰出基準に定める事由以外の繰出金によって収入不足を補填しているような事業体にあつては、適切な使用料収入の確保が求められる。
- 汚水処理費の減少により前年度と比べ、**4.9ポイント増加**した。

(単位:%)

経費回収率の推移



5 -3 主な経営指標

使用料単価 153.1円/m³

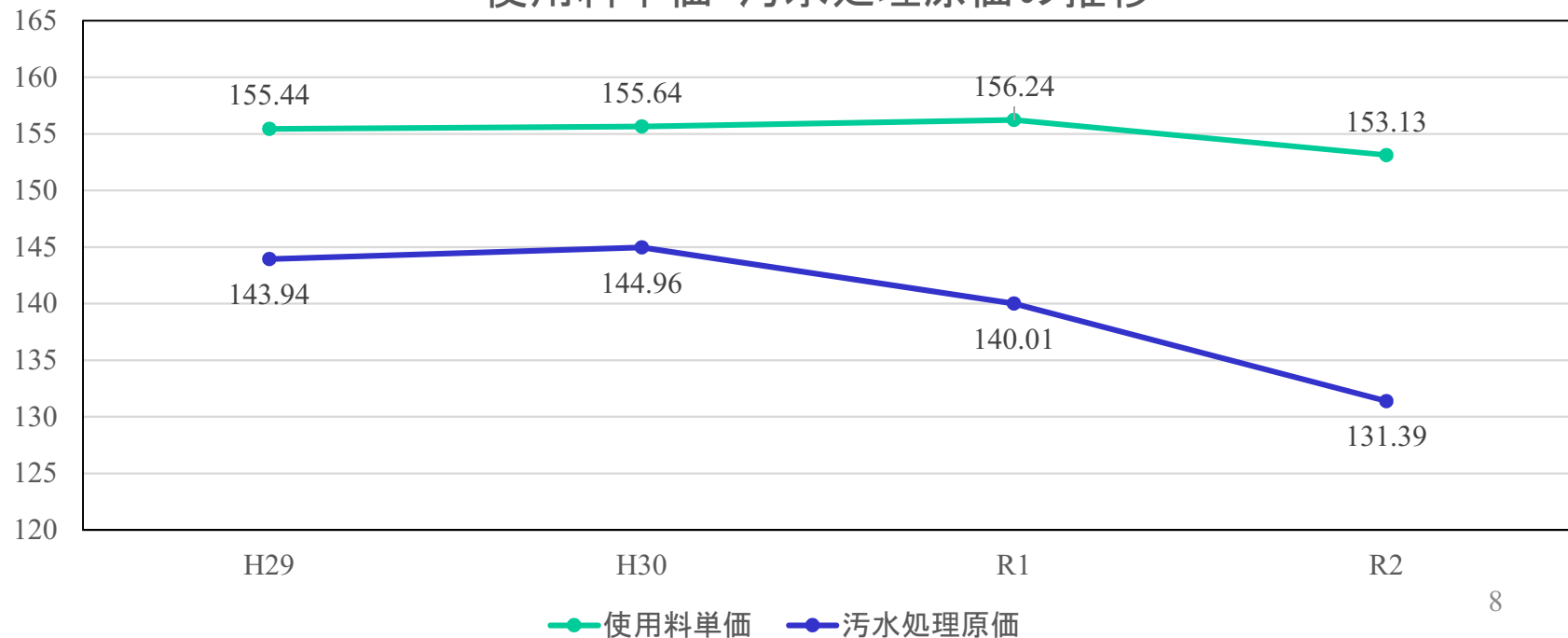
$$= \frac{\text{下水道使用料 } 3,643,677,271\text{円}}{\text{有収水量 } 23,794,658\text{m}^3}$$

汚水処理原価 131.4円/m³

$$= \frac{\text{汚水処理原価 } 3,126,304,167\text{円}}{\text{有収水量 } 23,794,658\text{m}^3}$$

(単位: 円/m³)

使用料単価・汚水処理原価の推移



5 -4 主な経営指標

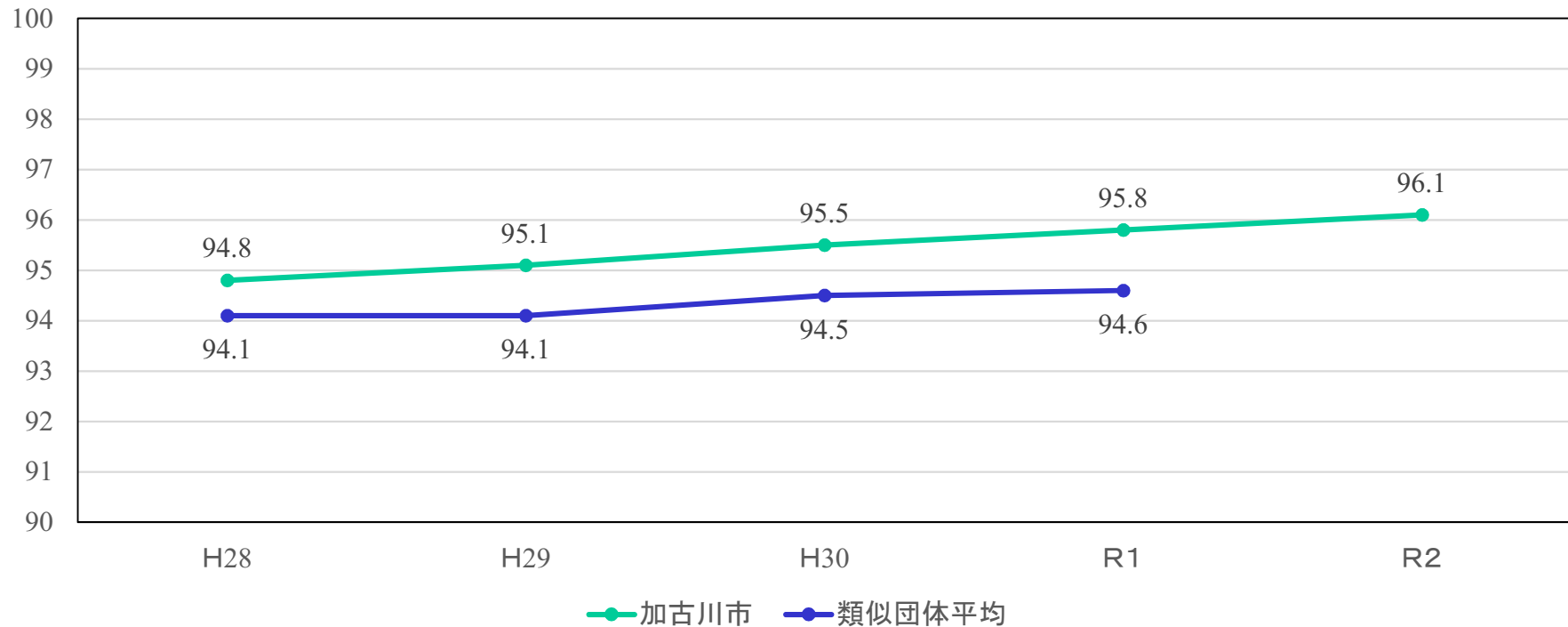
水洗化率 **96.1** (R1類似団体平均:94.6)

【算式】 現在水洗便所設置済人口／現在処理区域内人口

- 公共用水域の水質保全や、使用料収入の増加等の観点から100%となっていることが望ましい。
- 前年度と比べ、**0.3ポイント増加**した。

(単位:%)

水洗化率の推移



5 -5 主な経営指標

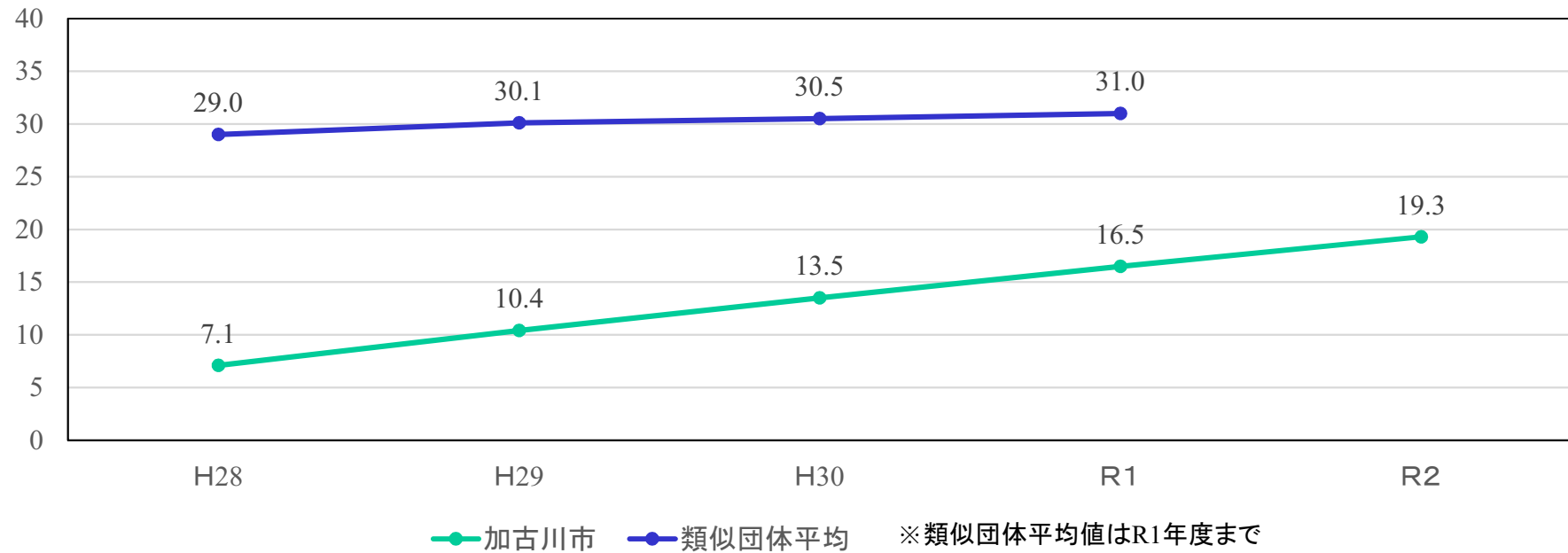
有形固定資産減価償却率 **19.3** (R1類似団体平均:31.0)

【算式】 有形固定資産減価償却累計額 / 有形固定資産のうち償却対象資産の帳簿原価

- 数値が高いほど、法定耐用年数に近い資産が多いことを示しており、将来の施設の更新等の必要性を推測することができる。
- 減価償却が進んだことにより前年度と比べ、**2.8ポイント増加**した。

(単位:%)

有形固定資産減価償却率の推移



5-6 主な経営指標

企業債残高 約 469億円

当年度償還高(約43.5億円)を当年度発行額(約21.8億円)が下回っているため、前年度と比べ、約21.7億円減少した。

＜主な起債対象事業＞

- ・未普及解消污水管渠布設工事
- ・別府川5-7号雨水幹線整備工事(第10工区)
- ・西脇雨水ポンプ場沈砂池設備工事
- ・流域下水道建設負担金
- ・資本費平準化債

積立金残高 約 23億円

4条収支の不足額(資本的収入額が資本的支出額に不足する額)に対し、建設改良積立金2億円、減債積立金3億円を補てん。当期純利益を建設改良積立金へ積立。

⇒積立金は前年度と比べ、約1.1億円増加した。

＜建設改良積立金残高＞

R1年度決算認定後残高	1,206,808,300円
△R2年度補てん額	200,000,000円
+R2年度積立額	612,126,538円
<hr/>	
R2年度決算認定後残高	1,618,934,838円

＜減債積立金残高＞

R1年度決算認定後残高	950,340,652円
△R2年度補てん額	300,000,000円
+R2年度積立額	0円
<hr/>	
R2年度決算認定後残高	650,340,652円

6-1 下水道ビジョン2028の進捗

快適



下水道普及率の向上

- 下水道普及率: 95.5%
⇒現状: 91.7%
- 生活排水処理率: 100%
⇒現状: 95.4%



良質な水環境の確保

- 水洗化率: 100%
⇒現状: 96.1%

6-2 下水道ビジョン2028の進捗

安心



災害への備え

- ・雨水整備率:51%
⇒現状:47%
- ・ポンプ場の耐震評価診断:実施
⇒現状:一部実施
- ・上下水道BCPに基づく訓練の実施回数:2回以上/年
⇒現状:1回



管渠・施設の機能維持

- ・管渠の巡視点検の実施回数:2回以上/10年間
⇒現状:1回/5年間の距離の巡視点検を実施
- ・陥没事故件数:0件
⇒現状:0件

6-3 下水道ビジョン2028の進捗

持続



持続可能な経営

- ・ 経常収支比率: 100%以上
⇒ 現状: **109.6%**
- ・ 経費回収率: 100%以上
⇒ 現状: **116.5%**



お客さまとのコミュニケーション

- ・ 広報誌発行回数: 2回/年
⇒ **2回/年**
- ・ アンケートの実施: 定期的に実施
⇒ **2回/年**